



クラブスローガン
～親睦から奉仕へ・
奉仕から友情へ～



国際ロータリー第2630地区 岐阜Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

2013-14 RI テーマ
ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

平成 25 年 8 月 20 日(火)
第 1070 回例会 第 992 号

会 長 森 井 脩 次
幹 事 渡 辺 成 洋
発 行 公共イメージ委員会
例 会 火曜日 12 時 30 分
会 場 岐阜都ホテル
事務局 岐阜市神田町 2-2
電 話 058-264-9235

ガバナー公式訪問・合同例会

岐阜西 RC・岐阜長良川 RC・岐阜中 RC

ホストクラブ会長挨拶

岐阜長良川ロータリークラブ
会長 加藤正孝様



本日は、岐阜西ロータリークラブ、岐阜中ロータリークラブ、岐阜長良川ロータリークラブの合同例会に 2630 地区加賀ガバナーをお迎えし、各会員の親睦を深めていただくことになりました。今期も 1 箇月余り経ち、各ロータリークラブの役員ならびに会員もそろそろ慣れてきたところですが、ここで加賀ガバナーに現状を報告し、再度アドバイスをしていただきたいと思います。脚下照顧と加賀ガバナーが言われるが如く、一度ロータリークラブの原点に立ちかえって考えてみると同時にローン D.バートン RI 会長の言われるように「ロータリーを实践

し みんなに豊かな人生を」の標語を胸に抱いて日々の生活においてロータリークラブの意義を实践していきたいものです。

ガバナー卓話

第 2630 地区ガバナー 加賀 修様



「脚下照顧」意味：自分の足元をよくよく見よという意。もと禅家の語で、他に向かって悟りを追求せず、まず自分の本性をよく見つめよという戒めの語。転じて、他に向かって理屈を言う前に、まず自分の足元を見て自分のことをよく反省すべきこと。また、足元に気をつけよの意で、身近なことに気をつけるべきことをいう。

～ goo 辞書より ～

陶芸家という職種柄、普段より自然に相対していると、我々の周りには気

が満ち満ちていることを感じる。自分の場合は自然との間にある気であるが、人と人との間にもこの気は多く存在する。この気をいかに大事にあつかい本気となって物事に取り組めるか、これが活気あるロータリーの実践につながり、しいては皆の人生を豊かにする事である。

また、我々ロータリークラブが抱えている切実な問題が「会員の減少」である。しかも当地区は 15 年連続ワースト 5 に入っている。この理由の一つとして友の不在が挙げられ、クラブ内のつながりや絆を強くすることによってこれを防ぐようご尽力いただきたい。会員増強・維持は我々の責務である。「脚下照顧」自らのクラブのありようを省み、親睦を図り、会員の増強維持に努めてほしい。



前 例 会 の 記 録

第 1069 回

平成 25 年 8 月 10 日(土)

[点鐘] 12 時 30 分

[ソング] 奉仕の理想

[ゲスト] 国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 加賀 修様

[ビジター]

[出席] 会員総数 30 名 (出席免除 3 名)

本日出席 14 名 56.67%

[行事] ガバナー公式訪問・合同例会
於 岐阜グランドホテル

担当 会長

次 回 予 定

第 1071 回

平成 25 年 8 月 27 日(火)

[点鐘] 12 時 30 分

[行事] 卓話

会員基盤増強維持部門

委員長 林 昭寿様

担当 会員増強委員会